

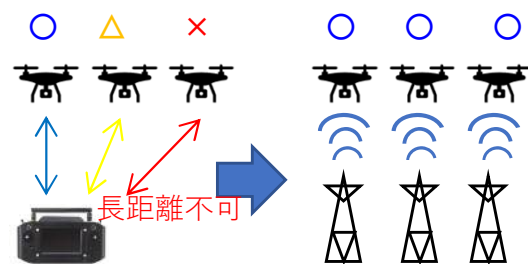
ふくいの空から県民を守るドローン防災事業の概要

- ・災害発生時に、目視外自動飛行機能を備えた災害用ドローンを活用し、被災状況を早期に把握し、県民へ迅速に情報を提供する。

(1) 災害用ドローンの配備 (R5完了)



× 8 台



コントローラー
(Wi-Fi (2.4GHz))

LTE通信網

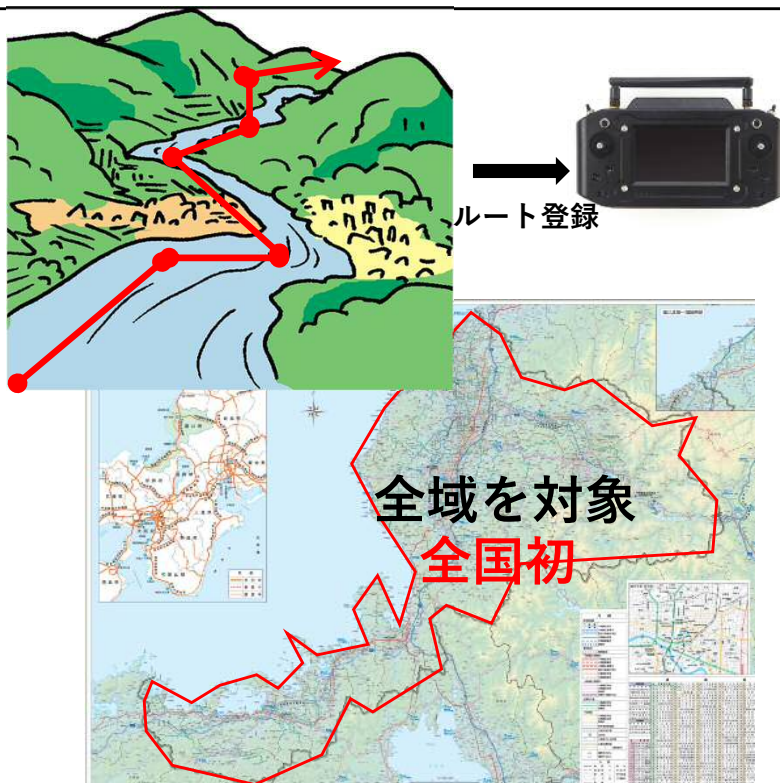
上空LTE利用

県庁および各土木事務所に

8台配備

- ・モバイル通信を活用した自動運転機能
- ※最大半径3km
- ・防水機能 IP43

(2) 自動飛行ルートの事前登録 (R5完了)



県内全域を対象にルートを取得

- ・ 1, 725 km を登録
- ・ 県境や行止まりの道路 約 150 km
- ・ 河川、砂防河川 約 1575 km
- ・ 事前登録時に取得した動画や写真は被災前の状況として活用
- ・ 登録データは将来の「空の道」に活用

(3) 災害時の早期状況把握 (R6～)

① 災害発生



② 立入可能地点から自動飛行

③ 登録済みのルートで飛行

- 職員 1 名と委託 2 名が現地に急行
- ・ 調査時間の短縮
- ・ 状況写真は情報共有システムや 3次元化ツールを活用し水防本部や災害対策本部に提供
- ⇒ 県民への早期情報提供に活用